Design Wave誌にひと言

11月号（特集1 FPGA＋CPUでアクセラレーション / 特集2 事例に学ぶ高速無線モジュール＆システム設計の号）について

● 次回はデコーダの記事を

JPEGエンコーダに関する記事がありましたが，どちらかと言うとハードウェアによるJPEGデコーダの方が実用的で興味があります．実際に製作するなら次回はデコーダの記事をお願いします．（匿名）

● 無線通信モジュールに興味あり

無線通信モジュールは，個人的にタイムリーな記事で興味深く読みました．もう少し深い内容，ノウハウも欲しかったのですが，一般向けとしては仕方ないかと思います．（匿名）

● 設計コンテスト関連の記事が参考になった

64点高速フーリエ変換回路設計仕様書が非常に分かりやすく，また，DWM設計コンテストにも興味を持ちました．現在，ウェーブレット変換回路の設計について勉強中なので，とても参考になる内容でした．（mash）

ひと口（くち）コメント・コーナー

今日のお題「○○は改革が必要！『○○とその理由』を教えてください」

- LSIテスト：ゲート規模は年々増加の一方で，LSIテストにかける時間は比例しないので．
- 自分：やっぱりこれからの時代を生き抜くには自分の考え方をドラスティックに改革しなければ．
- 私の頭脳：最近，半独学でハードウェアの勉強を始めた自分には，根本的な知識，考え方が不足しているので．
- 設計標準化：先人の設計が生かせていない．汎用性がなく，毎回，新規設計を行い，作業が二度手間である．
- 毎日：毎日同じことをしているのは，相対的には後退していることを意味するから．

次のお題「忘年会・新年会の季節．あなたにとって「お酒」とは『何』ですか？」

Term is Funny

『用語解説裏バージョン』

GEH

No.58：FPGA

プログラミングすることができるアナログ回路のこと．ASICは厳格なHDLしか受け付けないのに対し，FPGAはファジーに書かれたHDLでも合成可能であり，それによって作り手の意志とは全く関係ない動作を生み出す極めてアナログ的なチップである．数値や記述をちょっと変更しただけで「今まで動いていたところが動かない」，「昨日は動いていたのに今日は動かない」，「全く関係のない個所の動きがおかしい」などと実にアナログ的で，魂が宿っているとしか思えない動きをする．

CO出版　GEH著『匠の技―魂―』より抜粋

No.59：CPLD

FPGAは揮発性のものが主流であるのに対し，CPLDは不揮発性が主流である．そのため，いつも同じバグに悩まされる．

CO出版　GEH著『匠の技―輪廻―』より抜粋

No.60：キャッシュ・メモリ

キャッシュとは世間には知られてはまずい裏金のことであり，メモリとは香港やスイスの口座番号をメモしたもののことである．キャッシュ・メモリとは，赤字に陥った会社が使う「どこからともなく利益が湧き出でて，黒字に変えてくれる」とてもありがたい技術を指す．ただし，やり過ぎるとお上に目をつけられる．

<筆者プロフィール>
GEH．回路設計に追われながらもインターネットの魔力に取りつかれ，HP『電影雑記（http://www1.odn.ne.jp/~cbi12830/index.htm）』を営む．現在，技術者として忙しい日々を過ごしている．

Design Wave Magazine 記事ベスト3

2006年11月号の記事でおもしろかったもの，役に立つ/役に立ちそうなもののアンケートを実施しました．ここでは，その結果を発表します．

♪おもしろベスト3♪

第1位　特集1 第1章 “FPGAマイコン” 最新事情
第2位　特集1 第2章 C関数をハードウェア化して高速化
第3位　特集1 第3章 CPUの命令セットを拡張して高速化

♪お役立ちベスト3♪

第1位　特集1 第2章 C関数をハードウェア化して高速化
第2位　特集1 第1章 “FPGAマイコン” 最新事情
第3位　特集1 第4章 CPUコアを検証時に活用して開発期間を短縮